

令和6年度
福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
実践報告

ノーリフティングケア 1年を振り返って

～みんなで一緒に～

社会福祉法人さわら福祉会
特別養護老人ホーム マナハウス

ノーリフティングケア今年度の取り組み

ノーリフティングケアにより福祉用具等を活用して
体の負担の軽減につなげた。

- ・ノーリフティングケア職員研修
- ・ラウンドチェックの体制構築
- ・腰痛軽減のためのリスクマネジメント
- ・腰痛予防体操の浸透

介護職員の腰痛軽減
利用者様の安楽

ノーリフティングケア職員研修

【新人職員向け】

座学研修

ノーリフティングケアの目的の理解

実技研修

負担のかからない身体の使い方
福祉用具の使い方

【全職員向け】

実技研修

前回習った体の使い方、
福祉用具の使い方の復習



今後も年に1回
実技研修実施予定

ラウンドチェックの体制構築

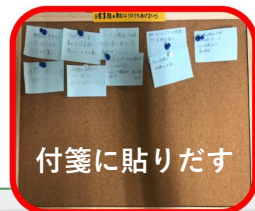


施設に多くある福祉用具に関する
チェックポイントのリーフレットを作成



ラウンドチェック時だけでなく
普段からチェックできるよう
各フロアに配布

腰痛軽減のためのリスクマネジメント



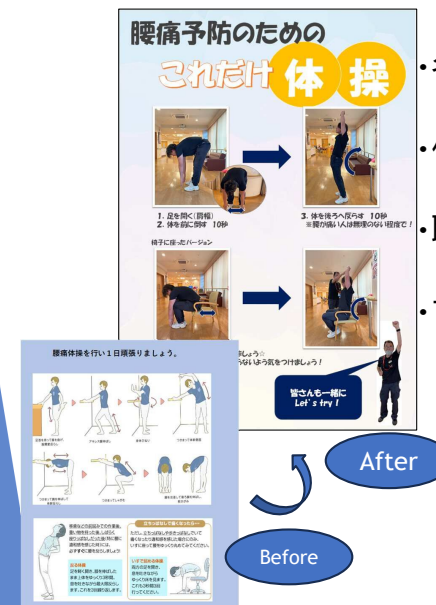
働く環境にもリスクが転がっている！

優先順位 (フロア)	記入日	対象者・フロア	課題
5階	9月21日	職員	汚物ゴミが重たい（袋の中にパンパンに詰まっていたり、捨てる際に負担がかかる。
3階	10月5日	職員	立位が出来ない方のトイレ介助（2人介助）で腰を痛める。
4階	11月18日	職員	リフト使用時のリフトも動かす際に重たく感じ、腰を痛める。ソファから入居者様も立ち上がりながら乗る際に腰に負担を感じる。
2階	10月5日	職員	ベッド上での排泄ケア時の腰への負担。
2階	11月18日	職員	リネン・備品・洗濯物を運ぶ作業での腰や肩への負担がかかる。
5階	11月18日	利用者	T氏が車椅子からずり落ちた際の移乗の介助が職員の身体に負担がかかる。
4階	11月18日	利用者	リフト使用時体格が重い人で使用した場合は小回りがまよにくい為、職員の身体への負担が大きい。
2書館	11月18日	利用者	口腔ケア時の職員の姿勢が前傾となり、居室の洗面所のスペースが狭いため、身体への負担が大きい。

一覧化する

ノーリフティング委員会を中心に
解決できるものから取り組む

腰痛予防体操の浸透



- ・各フロア体操ができる時間の検討
- ・体操の内容(項目)を最低限に
- ・職員の写真を使用しポスターを作成
- ・フロアやエレベーターなど目に付きやすいところに掲示

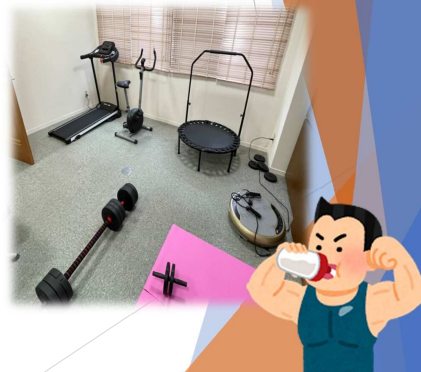
施設内にジム設置

- ・腰痛防止のための意識改革

腰痛体操が取り組みやすい環境整備
施設内ジム(*manaZAP*)利用！

- ・職員の腰痛

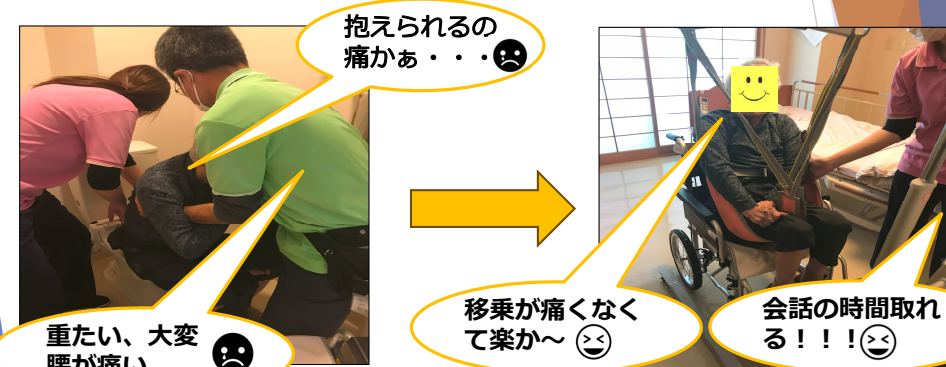
腰痛者を減らすこと！



取組み後、職員にも変化！！

今まで様々な方法を試すが・・・
「この方が早い。」けど・・・重労働

「あのスリング使えるかも！」
「利用者さんとお話しながら介助★」

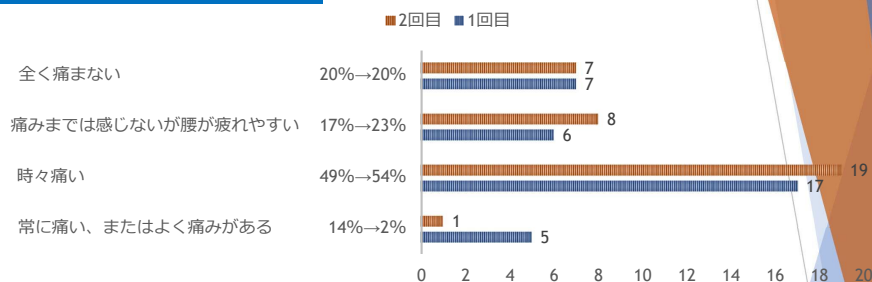


利用者也自然と笑顔になりました☆

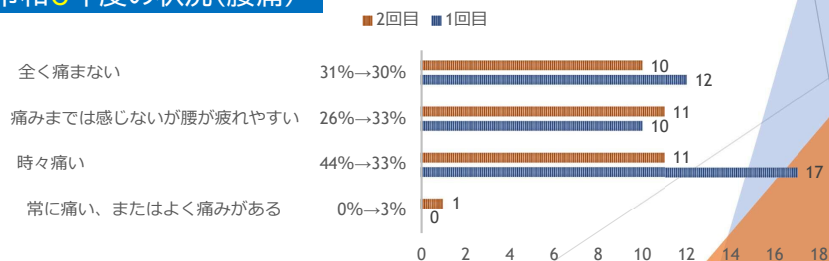
職員の意識が変わり始める

去年から今年の腰痛結果

令和5年度の状況(腰痛)



令和6年度の状況(腰痛)



腰痛調査結果

令和5年度

・常に痛い、またはよく痛みがある

14%

令和6年度

0~3%

・時々痛い

54%

33%

確実に腰痛者が減っている

職員の意識改革

体制づくり

委員会メンバーを含む指導職員を増やした。

ノーリフティングケアの充実

介護職員のケアの仕方・福祉用具の活用方法を指導

意識改革

指導職員も率先してケア時に福祉用具等を活用した。

「介助に時間がかかっても腰を守ろう」と言い続け
ケア時間をコミュニケーションの時間へ



まとめ

今いる人材が「**年齢・体力・怪我**」で離職をせず

いつまでも続けられるように、**新卒職員**の為にもこの取り組みは**必須!!!**(実習生にも**ノーリフティングケア体験**をしてもらっている)

今回、職員一人ひとりの意識改革に努め、体の使い方を含め福祉用具等を利用者の能力に合わせたケアに取り組めた。

スタッフ全員で**喜びを共有し、継続**させていきます!!!

